

平成最後の成人式 心豊かにふるさとに輝け!!



第52号
発行 東野まちづくり会議
編集 東野公民館広報部
印刷 龍共印刷(株)

私たちの東野
年代別人口(H30.9末現在)
市民課データ

年代	人口	比率
0~9	187	6.4
10~19	247	8.4
20~29	273	9.3
30~39	257	8.8
40~49	389	13.2
50~59	378	12.9
60~69	409	13.9
70~79	386	13.1
80~89	302	10.3
90~	108	3.7
計	2,936	100.0



坂神 亜里寿

1月13日、平成最後の成人式が行われました。この時期には珍しく、春の陽射しが眩しい程の好天に恵まれ、振袖姿の友人達で賑わう会場の辺りは、とても華やかで美しい光景でした。私も新成人となり、実行委員として携わる事ができたのは、大変感慨深く、社会人としての節目の財産として心に刻まれるものとなり



宮下 滉平

将来のために

私は去年に、20歳になりました。そして今年から新社会人として生きていきます。正直、成人になったという実感はなく、今までと変わらぬ日々を過ごしてきました。しかし、今年の4月からは今までは全く異なる世界で過ごします。当然、未知の壁に何度もぶち当たり、腕き苦しむ事が、この先必ず起こります。私は今のうちに何ができるか考えました。そして考えついたのが



「柔軟になること」です。私は、一度決めた事はブレず、成し遂げる事を目標にしました。そのため、自身の意見をもち、行動できるようなりました。しかし同時に、周りの意見を省いてしまう事が増えてしまいました。右も左もわからない新社会人で、それは致命的であり、自身の将来の可能性を抑え込んでしまっているのです。周りの先輩方などの意見を聞き入れ、理解し、食欲に知識を吸収し、自分のものにしていく、これが成長する過程で最も重要なことだと、私は思っています。まだ未熟な私ですが、今まで育ててくれた家族、お世話になった方々に感謝をしながら、明日を歩もうと思っています。



東野地区新成人の皆さん



よろこびの参加者



実行委員の皆さん



夢実現真珠の 願い青空に!

長野県議員 小島 康晴

成人式を迎えられた皆さんとご家族に心からお祝い申し上げます。

今年も心温まる立派な成人式でした。実行委員会の皆さんに敬意を表し感謝いたします。

今年の新成人の皆さんは、りんご並木60周年の記念行事を担った皆さんとのことです。皆さんが恩師の皆さんと楽しく歓談している姿に、「緑化部長」としてりんご並木に関わった当時のことや恩師のことを懐かしく思い出しました。

私たちの恩師小林斉先生は、教職を退いたのち公民館長として活躍されていました。

先生を偲び追悼集を作成することになり、先生の残された文章やエピソードから、その表題を「和顔愛語」としました。これは、和やかな笑顔と思いがりのある話し方というのですが、成人式の中にも「笑顔」がひとつのキーワードになっていました。これからの長い人生の中で、いろいろな状況に直面すると思いますが、ぜひ「和顔愛語」とりんご並木の心を思い出しながら、荒波を乗り越えていただきたいと思っています。



(祝賀会のスナップ)

桜並木



東野地区内を散策していると、ほかの地域にはない魅力的な生業があることに気づきます。

具体的には、麴の製造や祝儀用品の製造、祝儀袋などに貼る「のし」製造、紙器製作、製麺、染色、宝飾品の加工修理、漆加工、襖・障子の表具屋、弓道具販売、革製品の修理など、市内では数少ないモノづくりの工場、工房があります。ほかに青果物や鮮魚の専門店、人気の高い和食、洋食の店など、私たちの周りには、製造現場や店舗の熟練した技や感性が息づいています。拾い歩きすれば魅力ある生業がまだまだあると思います。

同様に地区内には、駅、測候所、武道館、弓道場、テニスコート、プール、人形劇場、ラウンドアバウトなど利便性に富んだ特色ある施設が多くあります。本紙の前号に、東野地区基本構想・計画が着実に前進しているとの記事が載っていました。本紙でも49号から、コラム「わがまち文化ウォッチング」が新設され、文化財や行事、祭りなどの紹介が始まりました。基本構想を推進するなかで、身近な店舗や工場、職人さんたちに光を当て、働く姿や仕事への誇りを伝える取り組みも大切です。街の業者さんたちの粋、技を応援しながら、地域の特長、魅力を発信していきたいものです。

年末行事

自前のしめ縄で新年を

文化部が主催する「しめ縄づくり」が12月9日午後、公民館でありました。恒例行事とあって、小学生から高齢者まで25人が集まり、ベテランの指導を受けながら正月飾りを作りました。

この日は丸山町の久保田浩史さんと鼎下山の大木島勇司さんが指導。参加者は飾りの種類や幣束について説明を受け、さっそく作業開始。細い縄を苦戦しながら編み上げたり、おやすを複数個仕上げたりし、1時間ほどで完成させていました。



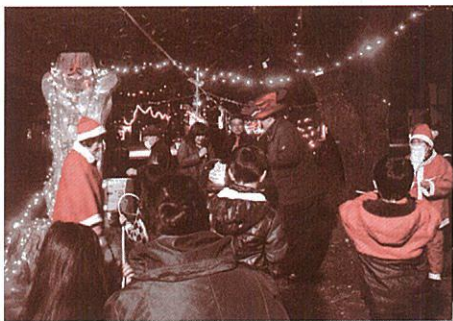
公民館が主催する「しめ縄づくり」が12月9日午後、公民館でありました。恒例行事とあって、小学生から高齢者まで25人が集まり、ベテランの指導を受けながら正月飾りを作りました。



図書館でクリスマス会

図書館クリスマスおたのしみ会は12月15日、公民館で開かれました。赤ちゃんから小学生まで、20人以上の子どもが家族と訪れ、会場は大賑わい。

イルミネーション点灯式



12月15日(土)午後5時から、イルミネーション

はじめサンタクロース、多数の親子さん、来場者等が声を合わせカウントダウン。点灯すると大歓声があがりました。子供さんには光るおもちゃが配られ大賑わい。点灯期間は1月26日(土)まででした。

キッズチャレンジ「ピザ作り」



育成部主催の「キッズチャレンジ」手作り体験を11月25日に実施しました。ボーイスカウト飯田第一団福澤団委員長始め7名の講師を招き、ピザ焼き体験をしてもらいました。大きき上げた段ボールに糊をペタペタ、アルミホイルを隙間なく貼っていきます。ピザ生地はなんと餃子の皮4枚を並べて、具材を切り刻んでトッピング。外に出てさあ組み立てた窯で焼きます。一回目は焼きが足りず「タマネギ辛辛い」の声が出て、「おいしい」の声が出て、おもしろ体験は成功して終わりました。

東野公民館の書初め教室に参加しました。参加は、今年で2回目です。僕の課題は半切に「生きる力」を書くことでした。習字は得意でも苦手でもないけれど、難しいなあと思っていました。教室では習字の先生が教えてくれるので、きちんときれいな字が書けてうれしかったです。僕は、先生に全体のバランスを教してもらいました。「力」の最後のハネが長くなってしまったのでそこに気を付けました。

書き初め教室



公民館が主催する正月行事が20日にあり、多くの子どもが楽しみました。1階では羽子板やコマ回し。子どもたちは裸足になり、夢中で羽根を追いまわした。2階和室には、数種類のかかるたや百人一首が用意してあり、子どもも大人も一緒に楽しんでいました。図書館では読み聞かせもありました。

お正月行事

かるたに羽子板 餅も



公民館が主催する正月行事が20日にあり、多くの子どもが楽しみました。1階では羽子板やコマ回し。子どもたちは裸足になり、夢中で羽根を追いまわした。2階和室には、数種類のかかるたや百人一首が用意してあり、子どもも大人も一緒に楽しんでいました。図書館では読み聞かせもありました。



飯田市女性バレーボール大会 優勝

去る11月11日に行われた「第37回飯田市女性バレーボール大会」で、長年の目標であった優勝を手にすることができました。今年のみんで楽しんでやろうと、いつもの練習のよう声を掛け合い試合に臨んだところ良い結果となりました。年々、大会に出場するチームが減ってきています。



今大会でも丘の上では、「東野」だけでした。東野クラブは、公民館を始め、周囲の皆さんも協力してください。おかげで参加できるのだと思います。この大会は、東野地区に住んでいないと参加することができないこととなっています。一緒に楽しくバレーをやる方募集中です。(島岡久美子)

わがまち文化 ウォッチング④

津島様

もともと東野の住人ではない私が、東野地区基本構想第2部会の役員となり、伝統文化について皆様と一緒に担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

東野地区の津島様(祇園祭)について足を運んで調査いたしました。今年度は、東野地区では、東新町1、東新町2、吾妻町東、吾妻町南、中央通4-2の5町で7月14、15日に行われています。

歴史を調べたところ、祇園祭を行う祇園社(京都・現八坂神社の旧称)の祭神は牛頭天王(釈迦の生誕地祇園の守護神)



飯田でも、商店街、町内ごとに得意な出し物があり、人々が繰り出し、商売繁盛の祭りとして大いに賑わいました。近年、商店街の衰退を感じました。(木村茂夫)

退とともに祇園祭はその勢いを失い、もともと飯田には津島神社の御師が頻りに来ており、津島様信仰に変わってきました。

飯田市内には特定の津島神社がありませんが、それぞれ町の内が主導して津島様のお札を飾り、祭りを行っています。

現在は、商売繁盛から家内安全と町内の懇親に意味が変わりながら、各町内の方々が文化を守っています。お祭りを継続することに苦慮している町内もあります。世代を問わず参加し、商売繁盛・家内安全を願い、津島様を守り続けて欲しいと感じました。(木村茂夫)